第３回　代表委員会資料

平成２８年７月４日

1　７月の月別目標について

７月の月別目標は「水分補給をしっかりしよう」です。水分をしっかりとって熱中症の予防ができたかどうかで反省をしてください。全員がどちらかの目標を守れたら◎，半分以上だったら○，半分以下だったら△をカレンダーに記入してください。

2　５・６月の月別目標について

５月の「くつをきれいにそろえよう」は，どのクラスも守れた日が多かったです。少し気をつければできることなので，いつもくつをきれいにそろえられるように，全員で気をつけていきましょう。６月の「ろうかは右側を歩こう」は，クラスによっては全員が守れた日が少なかったです。つい走ってしまったり，左側を歩いてしまったりする人が多く，とても残念でした。でも，注意されたらきちんとやり直す人もいたので，みんなで声をかけあえばよくなっていくと思います。これからも「ろうかは静かに右側を歩きましょう。」

よく達成できたクラス，５月は第１位４年１組の６回です。２位は６年１組・６年２組の５回です。６月は第１位６年２組の１８回，第２位３年１組の１６回，第３位４年１組の１２回でした。

3　空き缶・ペットボトルキャップ回収について

みなさんの協力により，空き缶・ペットボトルキャップがたくさん集まっています。先生たちもたくさんもってきてくれています。これからも，お家にあるときは１個でもよいのでもってきてください。児童総会で話し合って決まったことですので，全校のみんなに協力してほしいと思っています。毎週水曜日は空き缶回収の日と覚えておいてください。

4 運動会のテーマについて

今年度の運動会テーマの原案を下のように考えました。

『仲間を信じ　優勝めざして　つっぱしれ！』

各クラスでこのテーマにさんせいか，他にいいテーマがあるかを話し合ってください。来週，7月11日（月）にもう一度，代表委員会を開きますので，それまでに話し合い，その結果を下に記入して，持ってきてください。

（　　）年（　　）組は運動会テーマについて，本部の原案に

さんせい　・　修正案

（どちらかに丸印をつける）

さんせいの理由または修正案を下に書いてください。

5 運動会のたてわり種目について

今年度の運動会たてわり種目を２つ（次のページにあるA案とB案）考えました。

各クラスでどちらの種目がよいかを話し合ってください。A案は昨年やったものです。B案は，赤白１班の人が体験しているので，話を聞いてみてください。来週，７月１１日（月）にもう一度，代表委員会を開きますので，それまでに話し合い，その結果を下に記入して，持ってきてください。

（　　）年（　　）組は運動会たてわり種目について，

A案	・	B案
(ザ・サイクロン)		(ザ・トレイントレイン)

（どちらかに丸印をつける）

にさんせいします。

＜A 案＞

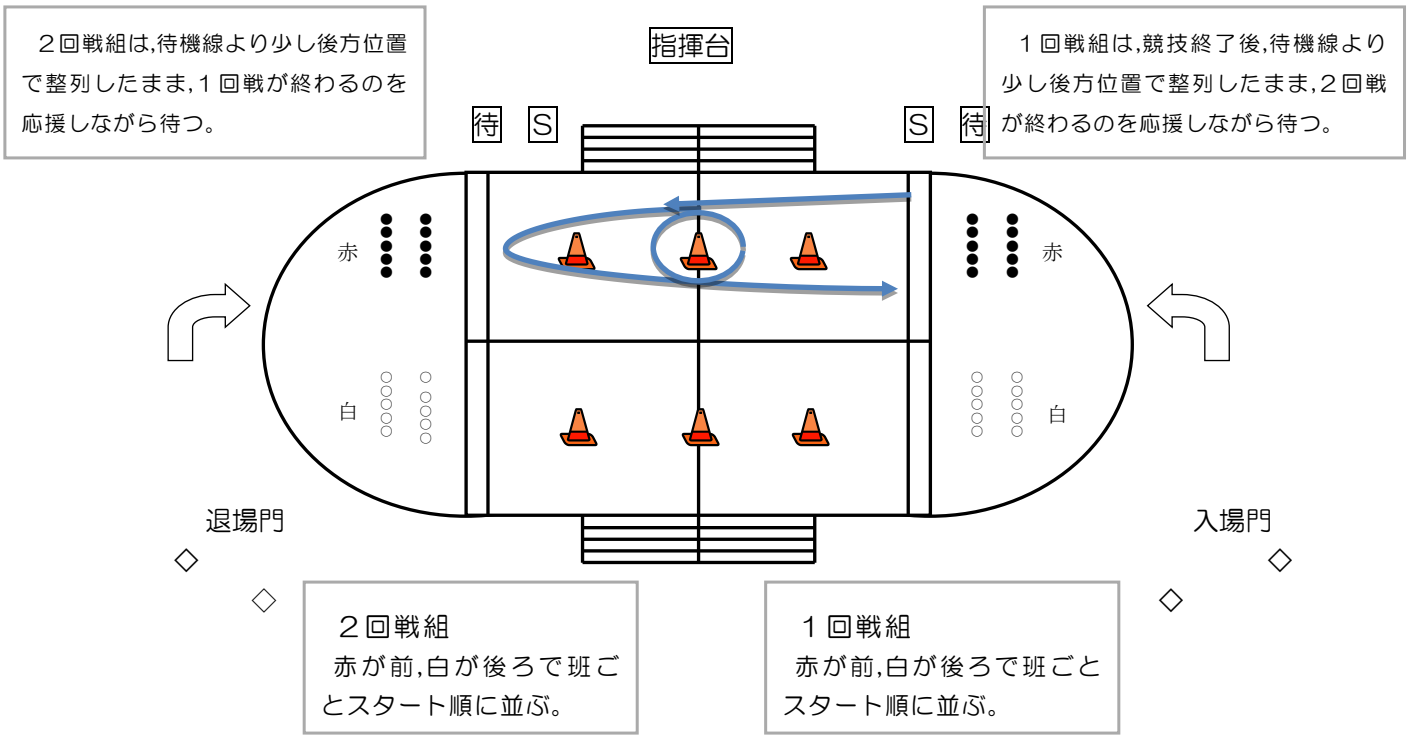
１．種目名　　「ザ・サイクロン（仮）」

２．およそのルール

⑴　１回戦：１～４班　２回戦：５～８班で競技します。
⑵　それぞれの班で３グループ作って下さい。４～５人で１グループになります。（１回戦・２回戦,赤白ともに,１２グループで行えるようにします。）
⑶　それぞれのグループのメンバーが,１本の棒を持って一緒に走ります。(棒の両端はなるべく高学年が持って走って下さい。)
⑷　スタートの合図のあと,行きは途中にある２つ目のカラーコーンを回り,３つ目のカラーコーンで折り返して戻ってきます。帰りは,まっすぐ戻ってきます。
⑸　スタート線の内側まで走ってきたら,両脇の人以外は棒から手を放します。そして,待っている人の足切りをしていきます。このとき,棒を放した児童は足切りに参加せず,邪魔にならないところで待っています。（棒が行きすぎてから列に加わります。）
⑹　足切りをしたら,棒は,待っている児童の頭上を通って先頭の位置に持ってきます。
⑺　次にスタートするグループは,棒が置かれてからスタートします。
⑻　結審は,アンカーが棒を置いた時点で決まります。

３．反則について

〇競技者が,両手を放してしまったら(片手だけでも棒を持っていればよい),放した地点からやり直します。
〇足切りをするとき,棒を持っている人が手を放してしまったら,その地点からやり直します。



＜B 案＞

１．種目名　　「ザ・トレイントレイン（仮）」

２．およそのルール

⑴　１回戦：１～４班　２回戦：５～８班で競技します。

⑵　それぞれの班で３グループ作って下さい。４～５人で１グループになります。（１回戦・２回戦,赤白ともに,１２グループで行えるようにします。）

⑶　グループの先頭の人は目隠しをします。他の人は前の人の肩に両手をかけてつながります。（先頭と最後尾は高学年）

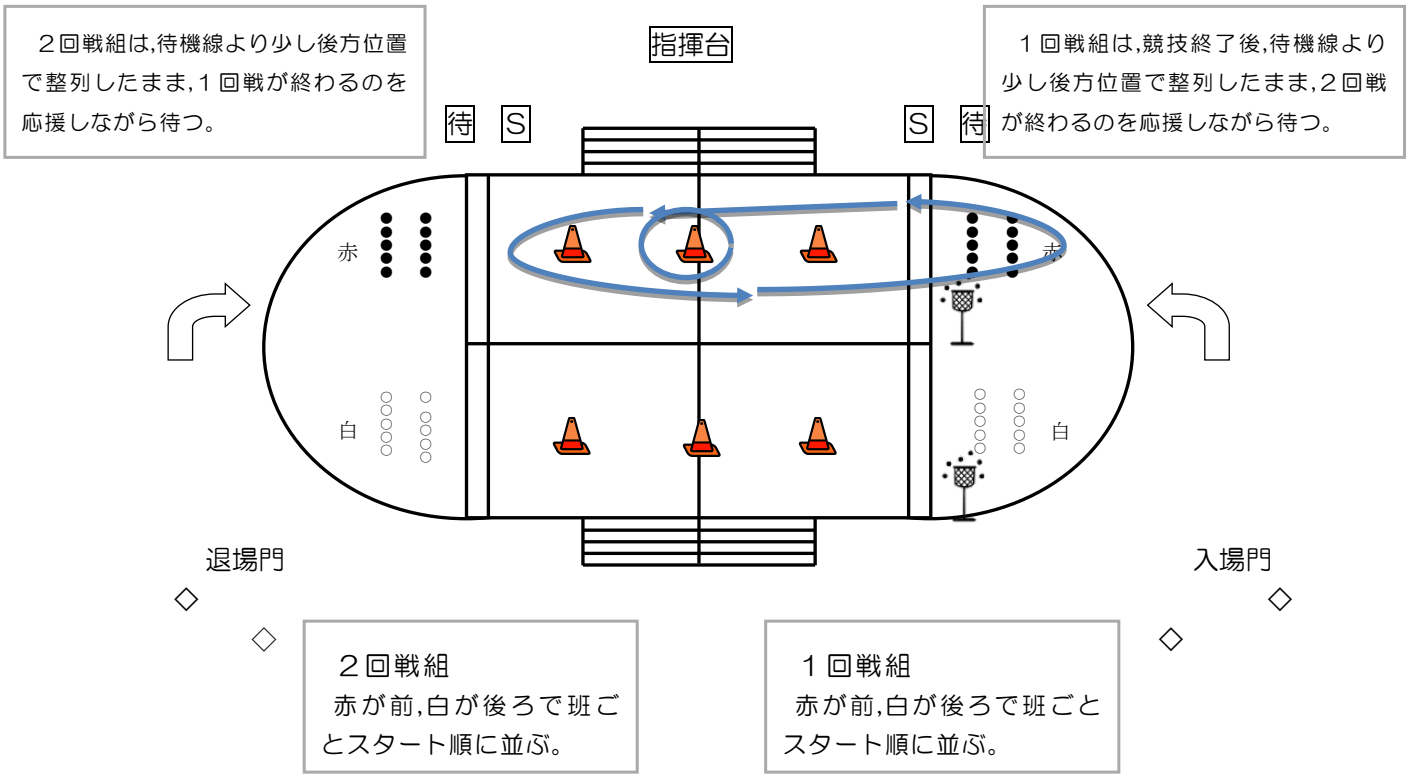
⑷　スタートの合図のあと,行きは途中にある２つ目のカラーコーンを回り,３つ目のカラーコーンで折り返して戻ってきます。帰りは,まっすぐ戻ってきます。

⑸　スタート線の内側まで走ってきたら,待機している人たちの後ろを通り,先頭の人が待機線を越えたら,目隠しを外し,次のグループに渡します。５人が１個ずつ玉入れをします。（玉は入れ物に５個入れておきます。１人１個しか入れてはいけません。高学年が低学年を持ち上げて入れさせてあげるなどの工夫をしてもよいこととします。）

⑹　次のグループは目隠しをしてスタートできる準備をして待っています。前のグループの全員の玉が入ったら,次のグループはスタートします。（教師がかごに入った玉を入れ物に戻しておきます）

⑺　結審は,アンカーのグループの全員の玉が入った時点で決まります。

３．反則について

〇競技者が前の人の肩から両手を放してしまったら（片手だけでも肩を持っていればよい）,その地点からやり直します。

〇玉入れの時は,１人１個しか玉を入れてはいけません。